



ちとせたい

学校だより 第 7 号
令和6年 10月24日
六ヶ所村立千歳平小学校
文責：教頭

共に生きていくこと

校長 尾崎 修一

10月9日(水)の全校集会で動植物や虫、人間の『身を守る(生きるための)仕組みや工夫』について、いくつかの例を挙げて話した後、6年理科「人や動物の体」の学習を発展させた「人間の呼吸・血流・拍動の関連」の簡単な実験をやってみせました(時間の都合で解説までできなかったため、「なぜそうなるのかは、6年生に聞いてください」として終わりました。果たして、聞かれた6年生は答えられているのかな?)。

この日の情報番組で、奄美大島の「特別天然記念物のアマミノクロウサギによる食害発生」のニュースを見ました。1980年頃に、沖縄本島から持ち込まれた特定外来生物のファイリマングース(以降マングース)が野生化・増殖し、アマミノクロウサギを捕食するようになったことで、アマミノクロウサギの生息数が減少しました。この事態を危惧し、奄美大島におけるマングースの根絶を目指し、防除事業を行った結果、奄美大島からマングースが根絶され、アマミノクロウサギの生息数が回復していきました。ところが、逆にアマミノクロウサギが増え過ぎてしまい、特産のかんきつ類「タンカン(桶柑)」の木をアマミノクロウサギがかじる(皮を食べる)被害が相次ぐ事態に。特別天然記念物のため、駆除や無許可での捕獲は原則禁じられているため、想定外の「難敵」に農家や自治体が頭を悩ませているということです。

マングースがアマミノクロウサギを捕食して生きる、アマミノクロウサギがタンカンの樹皮を食べて生きる(草食動物なので、タンカンの樹皮以外も食べます)、農家がタンカンの実を売って生活しているというように、動物と動物、人と動物(自然)など、生きるための仕組み・工夫などの関係が成り立って生きています。ただ、関わり合いながら「共に生きていくこと【共生・共存】」は、そう簡単なことではなく、共に生きていくことができなければ、場合によっては共倒れや総崩れの危険性もあります。ある意味、「自然の厳しさ」とも言えるのではないのでしょうか。

それでは、人と人との関係はどうでしょうか。先日の『風の子集会』での「校長挨拶」で、次のような話をしました(今回の「共に生きていくこと」の内容に関連する部分のみを抜粋して掲載)。

世の中には外見・内面を問わず、いろいろな方がいます。みんなそれぞれに様々な個人差があり、どこからか「違う」の線引きが難しく、そもそも線引き自体に意味が無いとの考えが広まってきています。違いに程度の差があるだけで、『違いはその人の個性』と捉えれば、見た目や言動などが自分と違っていても気にならないはずで、「いろいろな人がいて当たり前」「違うのはその人の個性」というスタンスが、世の中のスタンダード(標準・規準)となりつつあります。それが、最近よく耳にする『多様性の時代』だと思えます。

人と人も、関わり合いながら生きて(社会生活を行って)います。極論、生きていけないとも言えるでしょう(俗世間を離れ、人との関係を一切絶って生きていくことも可能ですが、現代ではかなり難しいと思われます)。社会の中で一番難しいことは『人間関係』だと、私は思っています。“自分と違う”人といかに共存・共生していくか、これからの社会を生きる子どもたちにとって、重要な課題・身に付けさせるべき力の一つと捉え、『リフレーミング※』が上手にできる人にしたいと考えています。



※リフレーミング ⇒ 物事の枠組みを変え、違う視点から見ることを意味する心理学用語。欠点や不安といったネガティブな物事も、考え方の前提を変えることで、長所や期待などポジティブなものとして捉えられるようになる。結果、人間関係やビジネスが円滑になる。

例：作業が遅い → 慎重な お節介 → 世話好き 心配性 → 用心深い
しつこい → 粘り強い せっかち → 素早い 失敗 → 貴重な経験 等

子どもたちの活動の紹介①

[6年修学旅行]

9月26日(木)・27日(金)に、南小学校と合同での『修学旅行』が行われました。今年度は、北海道函館方面です。まずは、大沼公園でカヌー体験です。普段できない貴重な体験をすることができ、子どもたちは楽しかったようです。次に、五稜郭公園・函館奉行所・五稜郭タワーの見学をしました。最後は函館山です。夜景は、残念ながら曇天のためにはっきりと見ることはできませんでした。それでも、山頂展望台行きのゴンドラの中からは、下山のバスの中からはきれいな夜景を見ることができました。

2日目の自主研修では、班の仲間と協力し、美しい函館の町と歴史を感じながらの学習となりました。

この2日間の修学旅行で、6年生の成長や新たな良さを発見することができました。この体験を今後の学校生活に生かして欲しいと思います。



子どもたちの活動の紹介②

[全校 マラソン記録会]

天候不良により2度の順延をしつつも、10月8日(火)に、全校で『マラソン記録会』を行いました。子どもたちは、自分の目標に向かってベストを尽くそうとがんばって走りました。パワーアップタイムや休み時間の体力づくりの成果を発揮することができたようです。また、当日は平日にもかかわらず、多くの保護者の方が応援に来てくださいました。



■ P T A役員による秋の環境奉仕作業

10月5日(土), P T A役員による『秋の環境奉仕作業』を行いました。9月のP T A役員会で, 秋のP T A会員による環境奉仕作業は不要だが, 昨年度・今年度の環境奉仕作業で溜めていた苧り草は撤去する必要があるということで, 役員のみでの実施としました。予想以上に草が重く, 途中, 休憩しながらの作業となりましたが, 終了後はきれいになりました。



■ P T A親子研修会

9月28日(土), P T A研修委員会主催の『P T A親子研修会』を行いました。今年度は, 七戸町にある, お菓子のみやきん「SWEETS STUDIO」の見学です。当日は, 約40名が参加しました。いろいろな種類のお菓子があり, お菓子づくりの様子を見学することができました。



■ 子どもたちの活動の紹介③

[全校 芸術鑑賞教室]

10月11日(金), スワニーに於いて『芸術鑑賞教室』が行われました。村内4つの小学校全ての児童が参集し, クロマチックハーモニカ楽器演奏者 山下 怜氏の演奏を聴きました。きれいな音色に合わせて手拍子をし, 会場はとても盛り上がりました。ハーモニカ演奏の体験や他校の児童との交流もでき, 充実した鑑賞教室となりました。



■ 子どもたちの活動の紹介④

[風の子集会]

10月19日(土), 体育館に於いて「風の子集会」を行いました。日頃の学習活動の成果を発表し合い, 鑑賞すること, 協力して行動すること, 自分たちの発表会であるという自覚をもって取り組むことがねらいです。児童は, これまでの学習の成果を生かし, 衣装や小道具, 演技等に工夫を凝らした意欲溢れる発表を堂々と披露していました。保護者の皆様には, 終了後の片付け作業等へのご協力ありがとうございました。



◎11月の予定

- 1日(金) 6年校外学習(国際核融合エネルギー研究所、原燃PRセンター)
- 2日(土) 村産業まつり~3日
- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 集金日 3年校外学習(六ヶ所消防署) 図書ボランティア委員会
- 6日(水) マス計算コンテスト
- 7日(木) 読み聞かせ スクールカウンセラー来校
- 9日(土) ※青森県原子力総合防災訓練(本校会場)
- 13日(水) 全校集会
- 19日(火) 図書ボランティア クラブ
- 20日(水) 校内研修(1年検証授業)
- 21日(木) 教育相談週間~29日
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 24日(日) 千歳平地区公民館祭
- 26日(火) 3年校外学習(村立郷土館) スクールカウンセラー来校
- 29日(金) 1・2年親子食育教室